
2014年度決算説明会



ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

平成27年5月26日

目次

【Ⅰ．2014年度決算概要】

・業績概要		1
・資金利益		3
・貸出金		4
・有価証券		6
・預金・NCD		7
・円貨預貸金利回り		8
・役務取引等利益		9
・経費		10
・与信費用		11
・不良債権		12
・自己資本		13
・中期経営計画進捗状況		14

【Ⅱ．2015年度 経営戦略】

・個人のお客様 潜在資金ニーズの掘り起し		16
・個人のお客様 資産運用ニーズへの取組み		17
・法人のお客様 解決策提案による資金需要獲得		18
・法人のお客様 広域ネットワークによるビジネス機会創出		19
・法人のお客様 事業性貸出		20
・有価証券運用の強化		21
・経費圧縮・効率化		22
・資本政策		23
・その他の活動		24
・2016年3月期 見通し・業績予想		25
・2016年3月期 中期経営計画対比		27

I . 2014年度決算概要

業績概要 (連結・2行合算)

(億円)

【ほくほくFG連結】	15/3期	前年比	14/3期
経常収益	1,939	29	1,909
経常利益	481	△ 13	494
当期純利益	282	9	273

【2行合算】	15/3期	前年比	14/3期
コア業務粗利益	1,448	25	1,422
資金利益	1,221	4	1,217
役務取引等利益	199	21	177
特定取引利益	2	△ 0	3
その他業務利益(※)	24	△ 0	24
経費(△)(臨時処理分を除く)	936	△ 4	940
コア業務純益	512	29	482
国債等債券損益	34	19	14
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	546	49	497
一般貸倒引当金繰入(△)	△ 19	△ 19	—
業務純益	566	69	497
臨時損益	△ 95	△ 83	△ 12
うち不良債権処理額(△)	80	94	△ 13
うち株式等損益	34	27	7
経常利益	471	△ 14	485
特別損益	△ 11	8	△ 20
法人税等(△)	177	△ 12	189
当期純利益	282	7	275

(参考) 与信費用	60	74	△ 13
-----------	----	----	------

※その他業務利益: 国債等債券損益を除く

【ほくほくFG連結】
経常利益 481億円 (14/3期比△13億円)
当期純利益 282億円 (14/3期比 +9億円)

【2行合算】
コア業務純益 512億円 (14/3期比+29億円)
 …資金利益及び役務取引等利益の増加、経費の減少

経常利益471億円 (14/3期比△14億円)
 …国債等債券損益の増加、与信費用の増加

当期純利益282億円 (14/3期比+7億円)
 …特別損失の減少、法人税等の減少

(億円)

【連単差の内訳】	15/3期	前年比	14/3期
差額	△ 0	1	△ 1
子会社利益	28	3	24
のれん償却	△ 21	—	△ 21
パーチェス調整	△ 0	0	△ 1
その他	△ 6	△ 2	△ 4

業績概要 (北陸銀行・北海道銀行)

	【北陸銀行】			【北海道銀行】 (億円)		
	15/3期	前年比	14/3期	15/3期	前年比	14/3期
コア業務粗利益	765	△ 5	770	683	30	652
資金利益	640	△ 22	663	581	26	554
役務取引等利益	105	14	91	93	7	86
特定取引利益	2	△ 0	3	—	—	—
その他業務利益(※)	16	3	13	8	△ 3	11
経費(△) (臨時処理分を除く)	504	△ 1	505	431	△ 3	434
コア業務純益	260	△ 4	264	251	33	217
国債等債券損益	35	21	14	△ 0	△ 1	0
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	296	17	278	250	32	218
一般貸倒引当金繰入(△)	△ 4	△ 4	—	△ 14	△ 2	△ 12
業務純益	301	22	278	265	34	231
臨時損益	△ 55	△ 81	25	△ 39	11	△ 50
うち不良債権処理額(△)	22	65	△ 42	57	16	41
うち株式等損益	1	△ 0	1	33	27	5
経常利益	245	△ 59	304	226	45	180
特別損益	△ 11	9	△ 20	△ 0	△ 1	0
法人税等(△)	87	△ 17	105	89	5	83
当期純利益	146	△ 31	178	135	38	96
(参考)与信費用	17	60	△ 42	42	14	28

※その他業務利益: 国債等債権損益を除く

【北陸銀行】

コア業務純益 260億円 (14/3期比△4億円)
 …貸出金利息の減少、保険販売手数料の増加
経常利益245億円 (14/3期比△59億円)
 …不良債権処理額の増加

【北海道銀行】

コア業務純益 251億円 (14/3期比+33億円)
 …有価証券利息および投信・保険販売手数料の増加
経常利益 226億円 (14/3期比+45億円)
 …株式等損益の増加

資金利益

- 貸出金利息は、平残が増加したが利回り低下が続き、前年比減少
- 資金利益は、貸出金利息の減少を有価証券利息配当金の増加、預金利息の減少により補い、前年比増加

資金利益

【2行合算】	15/3期	前年比	14/3期
資金利益	1,221	4	1,217
貸出金	1,018	△ 41	1,060
有価証券(※)	251	27	223
預金・NCD(△)	42	△ 11	53

〈利息増減要因〉

【2行合算】	平残要因	利回要因
貸出金	15	△ 57
有価証券	△ 7	34
預金・NCD(△)	1	△ 12

※うち投信解約分配金:30億円(前年比+24億円)

平残

【2行合算】	15/3期	前年比	14/3期
貸出金	74,520	1,079	73,440
有価証券	23,642	△ 755	24,397
預金・NCD	104,336	3,044	101,292

資金利回り

【2行合算】	15/3期	前年比	14/3期
貸出金	1.36%	△0.08%	1.44%
有価証券	1.06%	0.15%	0.91%
預金・NCD	0.04%	△0.01%	0.05%

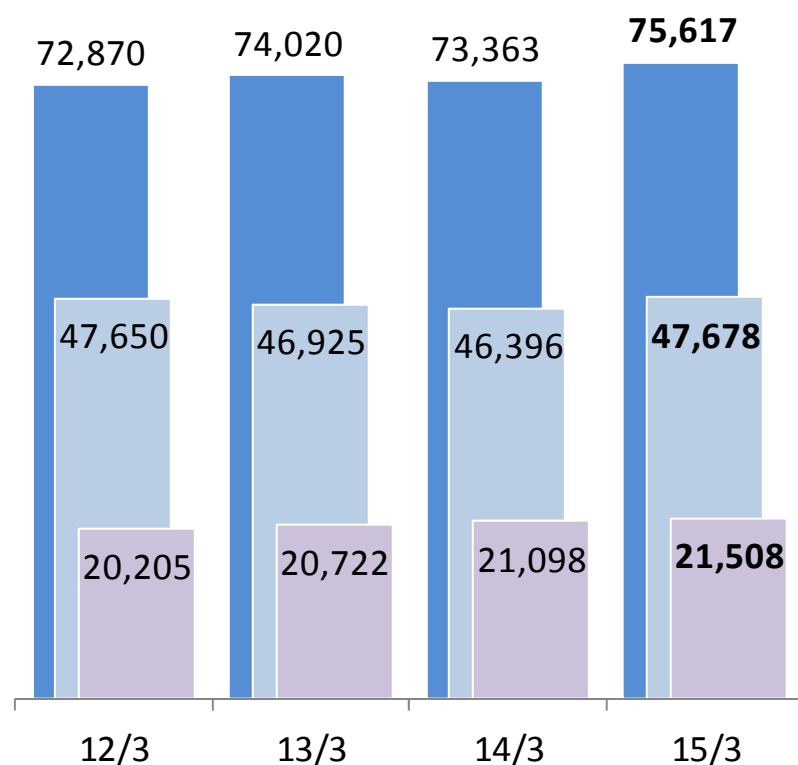
貸出金

- 貸出金残高は、事業性貸出の増加を主因に年間増減率3%を超える増加
- 個人ローン残高は、増加傾向を維持、中小企業等貸出期末残高は6期振りに前年比増加

貸出金残高

(億円)

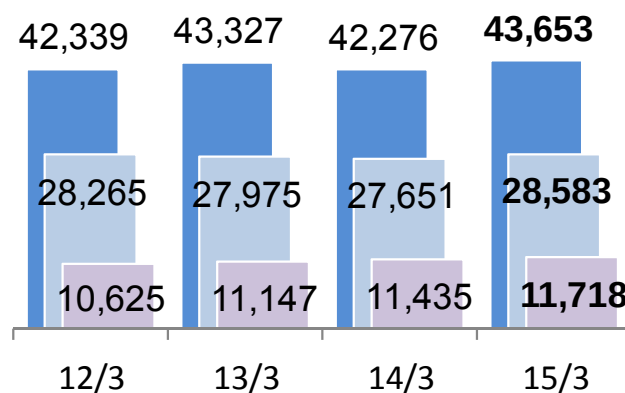
2行合算



■ 貸出金
■ 中小企業等
■ 個人ローン

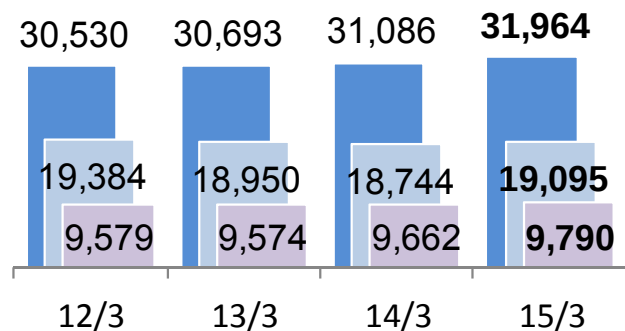
(億円)

北陸銀行



(億円)

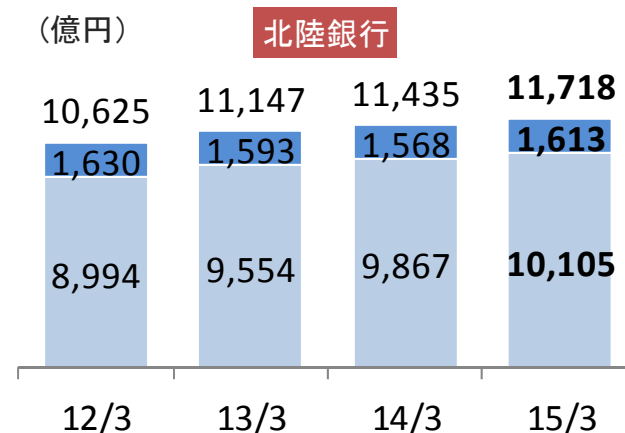
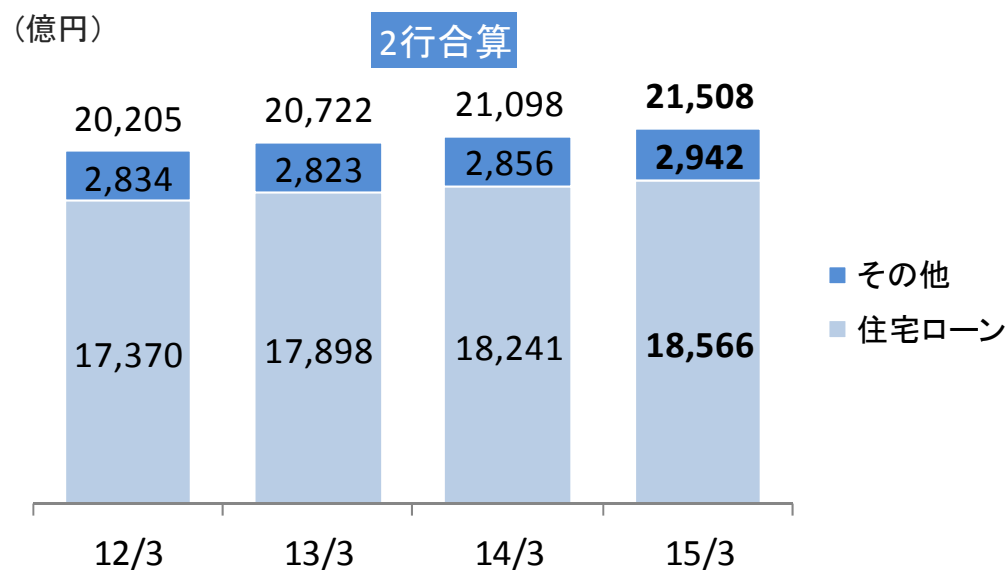
北海道銀行



貸出金

- 個人ローン残高は、引続き住宅ローン増加により増加傾向を維持
- その他個人ローン残高は、カードローンの積極的展開により、前年対比増加

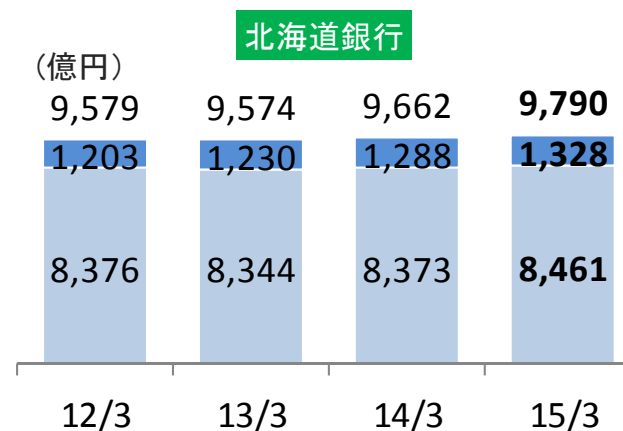
個人ローン残高



住宅ローン実行額

(億円)

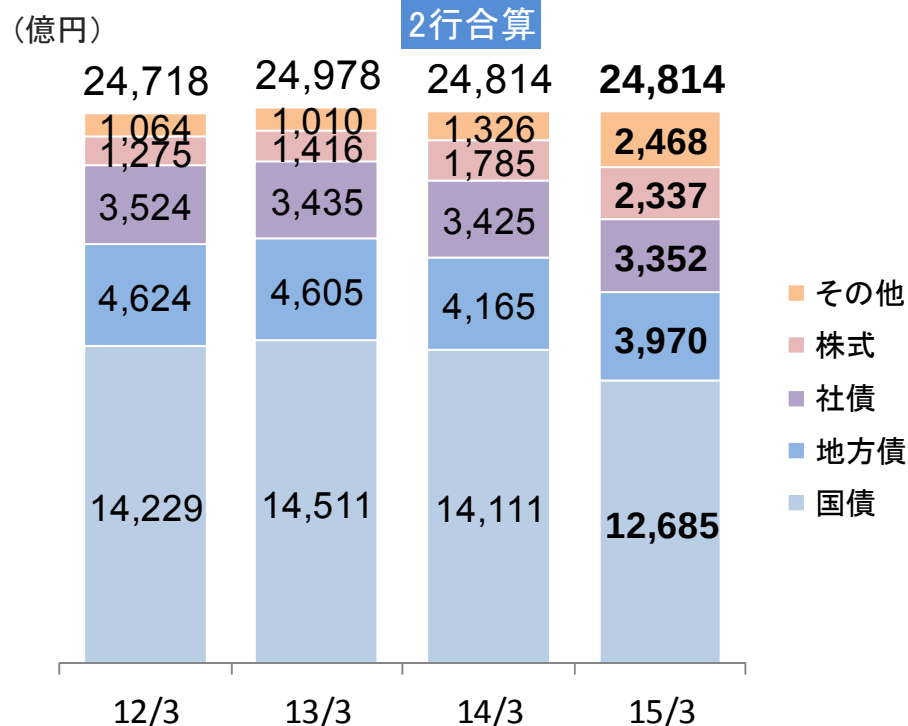
	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期
北陸銀行	998	1,142	1,179	1,065
北海道銀行	881	806	809	800
2行合算	1,880	1,949	1,988	1,866



有価証券

- 外国債券および株式を積上げる一方で、国債は金利情勢を勘案して売却を実施し前年比減少
- その他有価証券の評価損益は、株式市場の好転により前年比増加

有価証券残高



円債デュレーション (2行合算)

12/3末	13/3末	14/3末	15/3末
4.18年	3.88年	3.45年	3.05年

※ヘッジ考慮後

その他有価証券の評価損益

(億円)

【2行合算】	15/3末	増減	14/3末
その他有価証券	1,425	498	926
株式	952	477	474
債券	375	△ 30	405
その他	97	51	46

円債残高・利回り・金利リスク

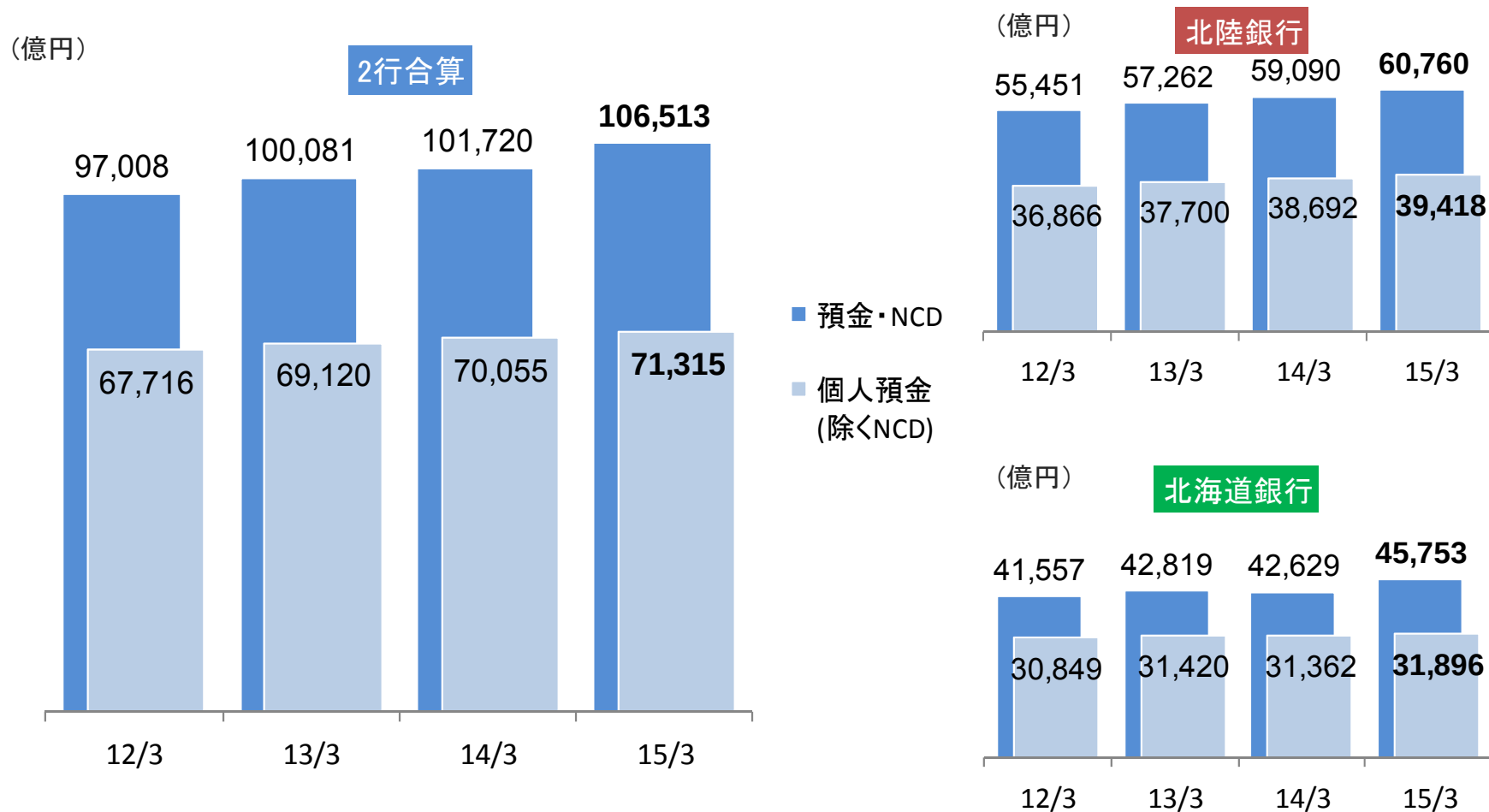
(億円)

【2行合算】	15/3末	増減	14/3末
円貨債券残高	20,008	△ 1,693	21,702
うち変動利付国債	3,900	△ 197	4,097
期中平均利回り	0.65%	△ 0.06%	0.71%
VaR	187	△ 50	237

預金・NCD

- 預金残高は、個人・法人セグメントで増加し、増加傾向を維持
- 期末残高で北陸銀行で6兆円、北海道銀行で4兆5千億円に到達

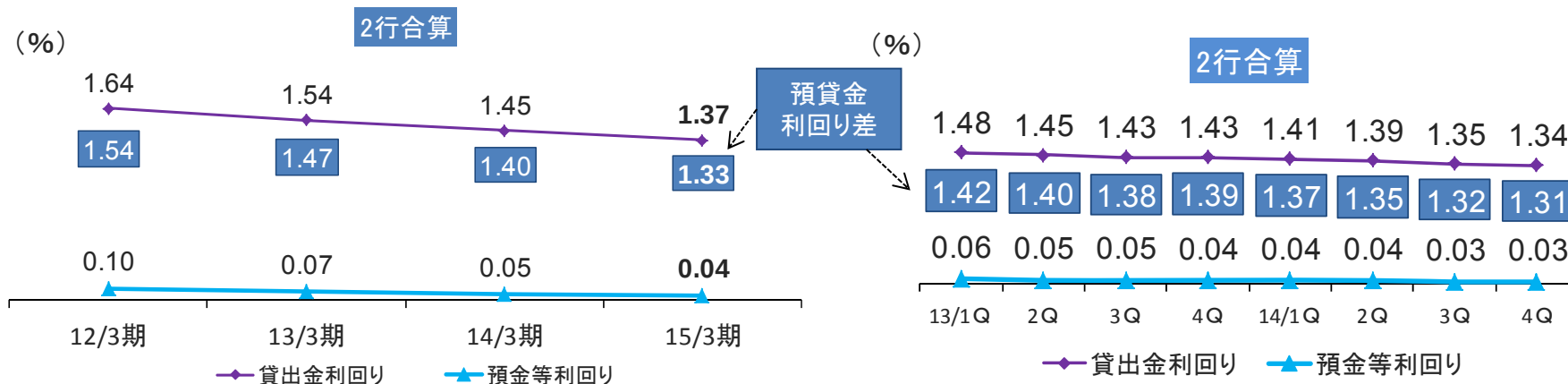
預金・NCD残高



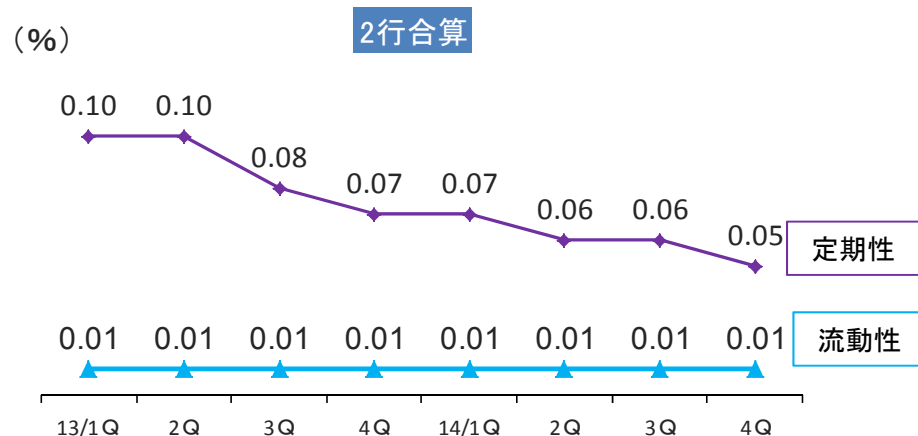
円貨預貸金利回り (内部管理ベース)

- 貸出金利回りは、事業性・個人共に低下傾向が続く
- 預金利回りは、ほぼ下げ止まる

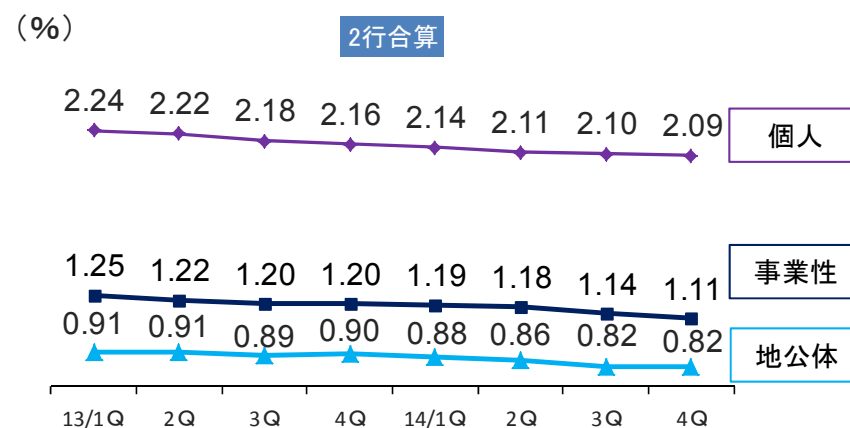
円貨預貸金利回り差



円貨預金利回り



円貨貸出金利回り



役務取引等利益

- 役務取引等利益は、投資信託・保険販売手数料の増加により前年比増加
- 投資信託は、株式相場等が堅調に推移し、販売額・残高ともに増加

非金利収入

(億円)

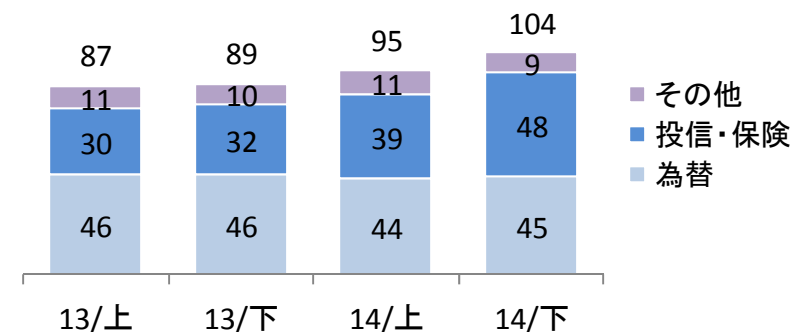
【2行合算】

	15/3期	前年比	14/3期
(1) 役務取引等利益	199	21	177
役務取引等収益	353	21	331
うち受入為替手数料	108	△ 2	111
うち投資信託手数料	50	9	41
うち保険手数料	36	15	21
役務取引等費用(△)	153	△ 0	154
うち支払為替手数料(△)	18	△ 0	18
うちローン保険料・保証料(△)	99	0	99
(2) 特定取引利益	2	△ 0	3
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	24	△ 0	24
うち外為売買損益	14	△ 2	16
うち金融派生商品収益	10	2	8
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	226	20	205
(5) コア業務粗利益	1,448	25	1,422
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	15.64%	1.20%	14.44%

役務取引等利益

(億円)

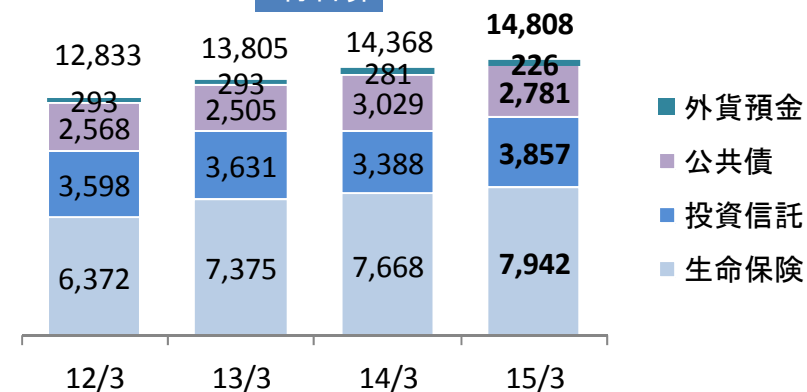
2行合算



投資型金融商品(個人)の残高

(億円)

2行合算



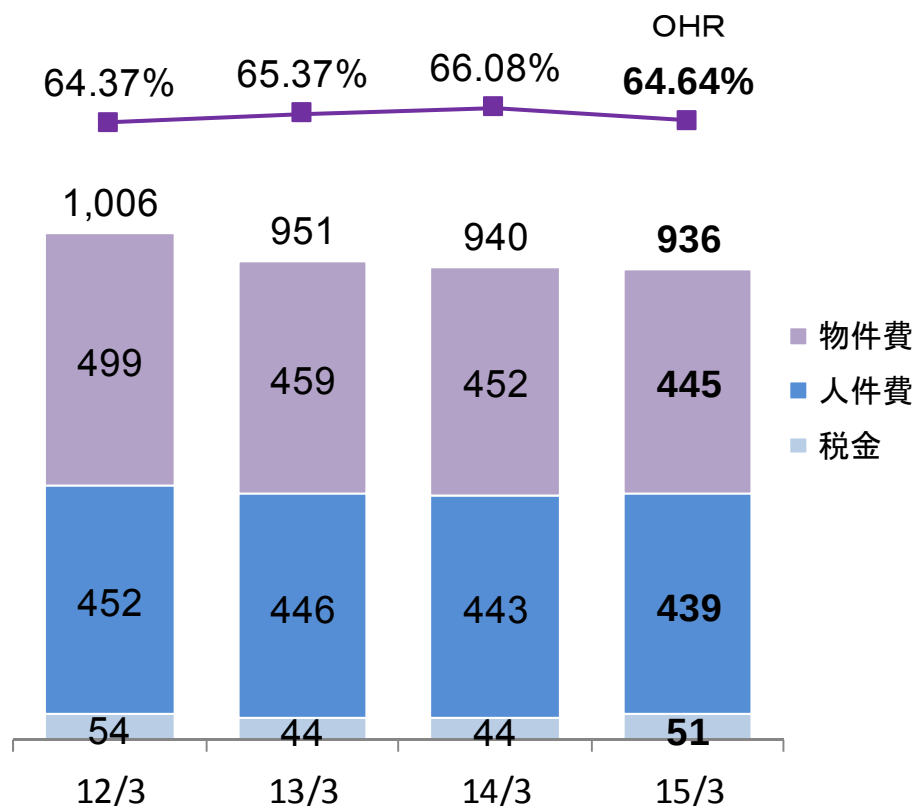
経費

- 経費は、消費増税による税金増加分を物件費及び人件費の削減で補い前年比減少
- コアOHRは、経費の減少及び利益の増加により低下

経費・OHR

(億円)

2行合算



増減要因

(億円)

【2行合算】

	15/3期	前年比	14/3期
人件費	439	△ 4	443
物件費	445	△ 6	452
税金	51	6	44
経費	936	△ 4	940

従業員数

【2行合算】

	15/3末	前年比	14/3末
正社員	5,094	△ 44	5,138
スタッフ	3,103	△ 26	3,129

- ・従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員
- ・スタッフ数＝嘱託＋契約＋臨時＋派遣・直接雇用パート

与信費用

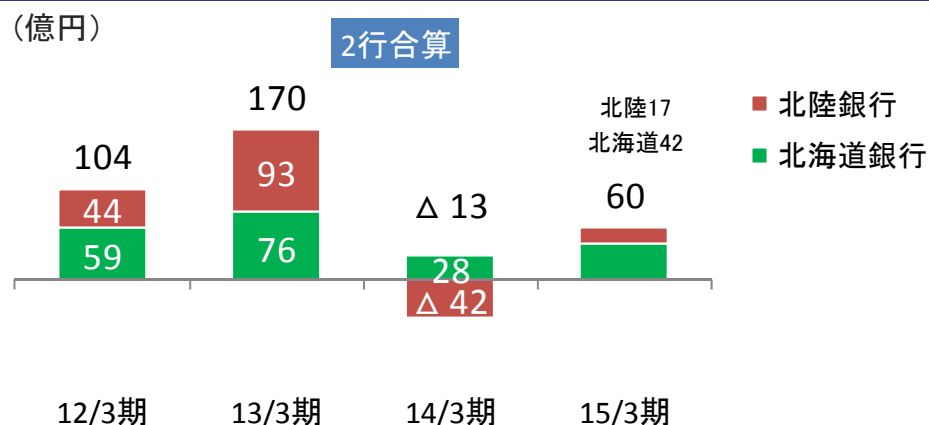
与信費用は、前年比増加したが依然低水準で推移

与信費用要因

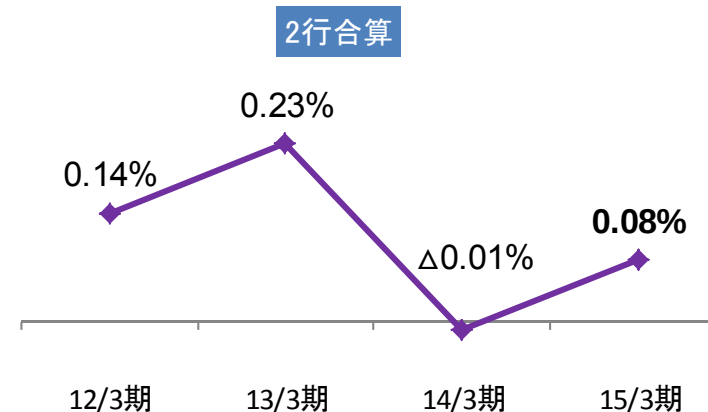
【2行合算】		(億円)		
		15/3期	前年比	14/3期
与信費用		60	74	△ 13
一般貸倒引当金繰入		△ 19	△ 19	[△ 42] -
不良債権処理額		80	94	△ 13
個別貸倒引当金繰入		74	74	[21] -
貸倒引当金戻入益		-	△ 20	→ 20

〈不良債権処理額発生要因〉		(億円)		
		15/3期	前年比	14/3期
債務者区分悪化		142	27	115
債務者区分改善		△ 13	△ 0	△ 12
地価下落		15	△ 4	20
その他回収等		△ 64	72	△ 137

与信費用



与信費用比率

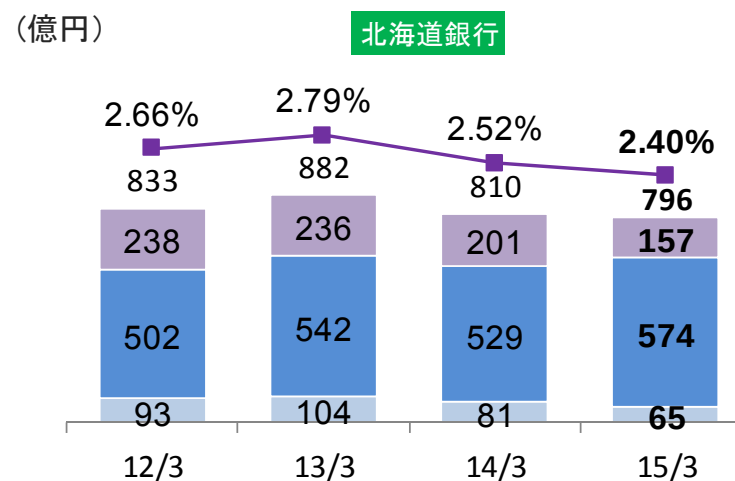
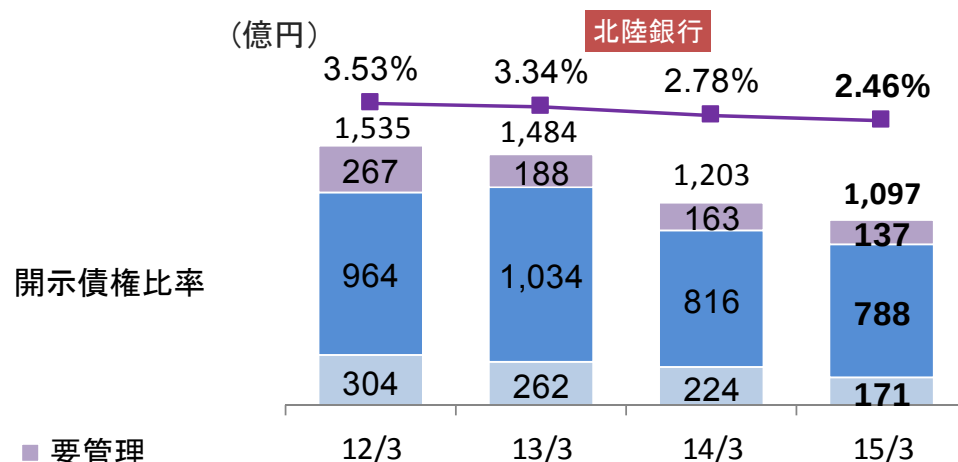
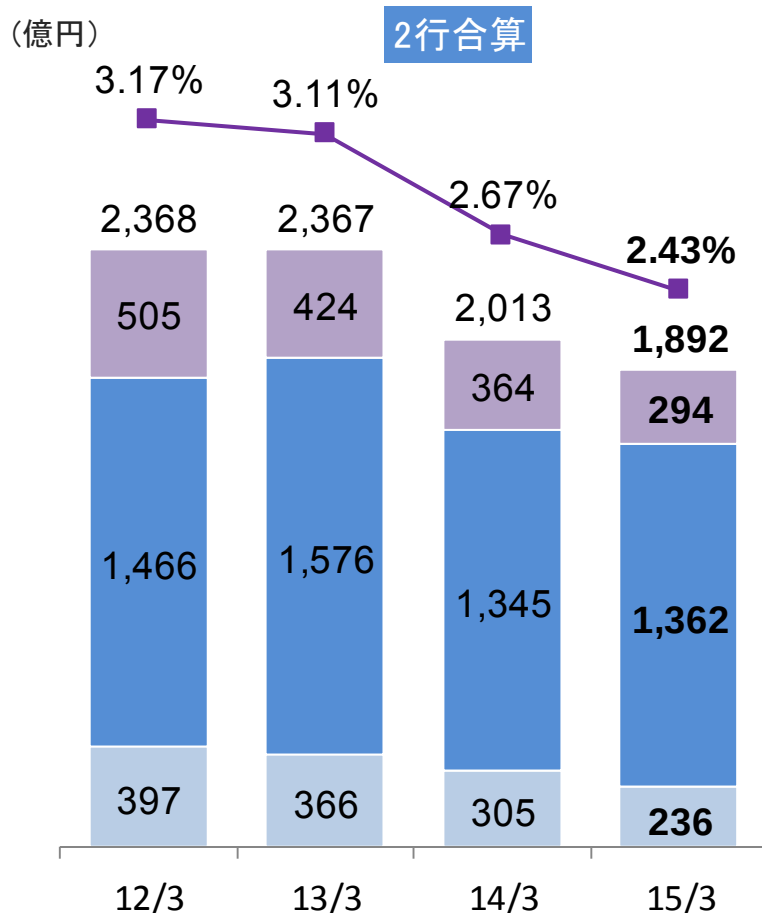


与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金平残

不良債権

- 開示債権比率は、要管理債権他で開示債権額が減少し、加えて正常債権が増加したことから、前年比低下

金融再生法開示債権



自己資本

- 自己資本比率は、利益の積上げの一方で劣後債務の返済（４５０億円）を進め、
 前年比１．１８ポイント低下の１１．１３％

自己資本・リスクアセット

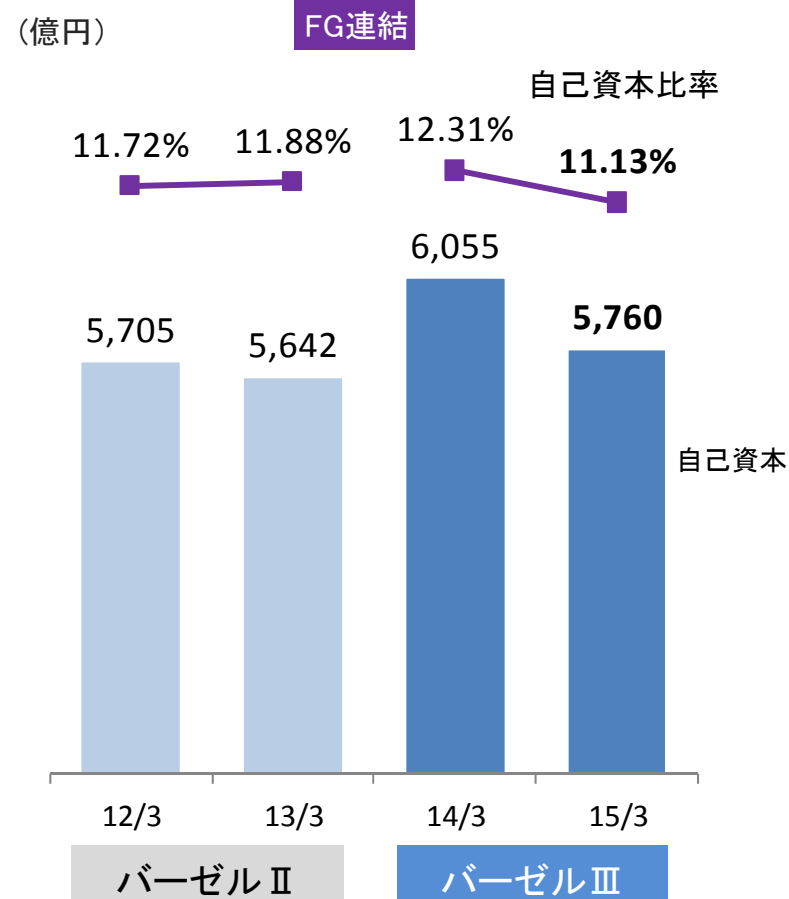
〈バーゼルⅢ国内基準〉

【FG連結】	経過措置適用			(億円)
	15/3期	増減	14/3期	完全実施(試算)
	15/3期		14/3期	15/3期
自己資本	5,760	△ 294	6,055	3,981
基礎項目	5,977	△ 302	6,279	4,253
調整項目(△)	216	△ 8	224	272
リスクアセット	51,747	2,561	49,186	51,595
自己資本比率	11.13%	△ 1.18%	12.31%	7.71%

銀行勘定の金利リスク

【2行合算】			(億円)
	15/3末	増減	14/3末
金利リスク量 (99パーセンタイル値)	102	△ 23	125

自己資本比率



中期経営計画進捗状況

- 中期経営計画（2013年4月～2016年3月）：“GO for IT！”
- 15年3月期計画（内部管理ベース）対比では、全項目達成。
- 最終年度計画（16年3月期）対比では、貸出金平残を除いて到達。

	16年3月期 中期経営計画	13年3月期 実績	14年3月期 実績	15年3月期 実績
総預金平残	10兆1,100億円	9兆7,903億円	10兆1,292億円	10兆4,336億円
貸出金平残	7兆4,800億円	7兆2,778億円	7兆3,440億円	7兆4,520億円
コア業務純益	470億円	503億円	482億円	512億円
連結当期純利益	185億円	181億円	273億円	282億円
連結自己資本比率	10%以上	11.88%	12.31%	11.13%
OHR (コア業務粗利ベース)	67%	65.37%	66.08%	64.64%
不良債権比率	2%台	3.11%	2.67%	2.43%

中期経営計画進捗状況

中期経営計画(16年3月期)対比要因分析

	15/3期	中計比
資金利益	1,221	9
貸出金利息	1,018	△ 24
有価証券利息	251	33
役務利益他	226	14
投信・保険利益	87	3
経費	936	△ 18
コア業務純益	512	42
与信費用	60	△ 69
連結当期純利益	282	97

● 中計比:「16/3期中期計画ー15/3期実績」



	平残要因	利回要因
貸出金	△ 5	△ 19

	15/3期	中計比
貸出平残	74,520	△ 290
貸出利回り	1.36%	△0.02%

15年3月期 総括

- **利益・預金・不良債権比率**他は16年3月期計画を上回る実績。ただし、利益は与信費用が低位な事と有価証券売買等に伴う利益の要因が大きい。
- **貸出金**は 平残が下回り、**利回り低下も続く**。

16年3月期 方針

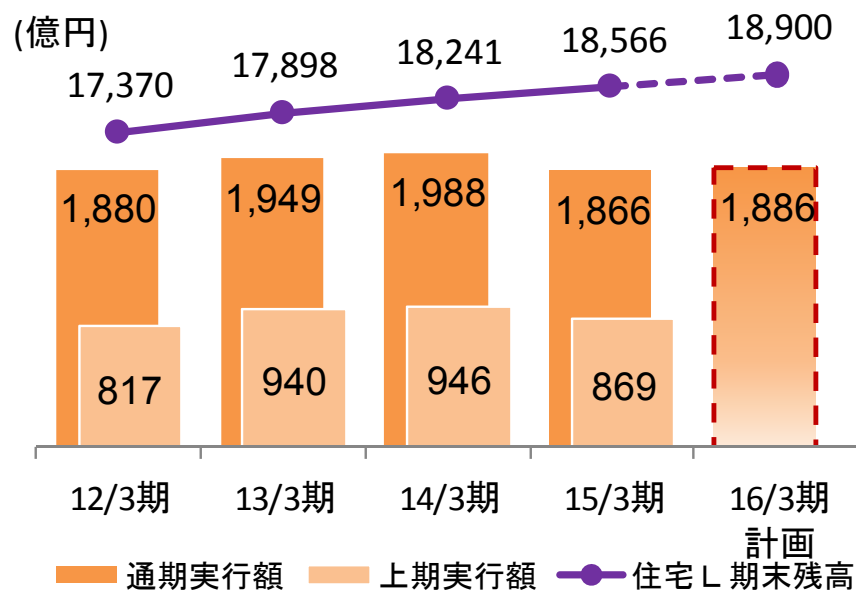
- 住宅ローン他で貸出金残高の拡大を図り、カードローン推進やソリューション営業による資金需要取込みにより、**利回り低下に歯止め**を掛ける。
- 貸出金利息の減少を、**預かり資産販売**による手数料収入増加や**機動的な有価証券運用**によりカバーする。

Ⅱ. 2015年度 経営戦略

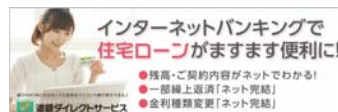
個人のお客様 潜在資金ニーズの掘り起し

- **住宅ローン**：①商品リニューアルや②受付チャネルの多様化による、新築資金ニーズの他、中古住宅購入資金やリフォーム資金ニーズの掘り起し ⇒ **貸出残高の積上げ**
- **カードローン**：①取引状況に応じた利用限度額拡大や②テレビCMやインターネット広告等による潜在資金ニーズの掘り起し ⇒ **利回りの高い貸出残高の積上げ**

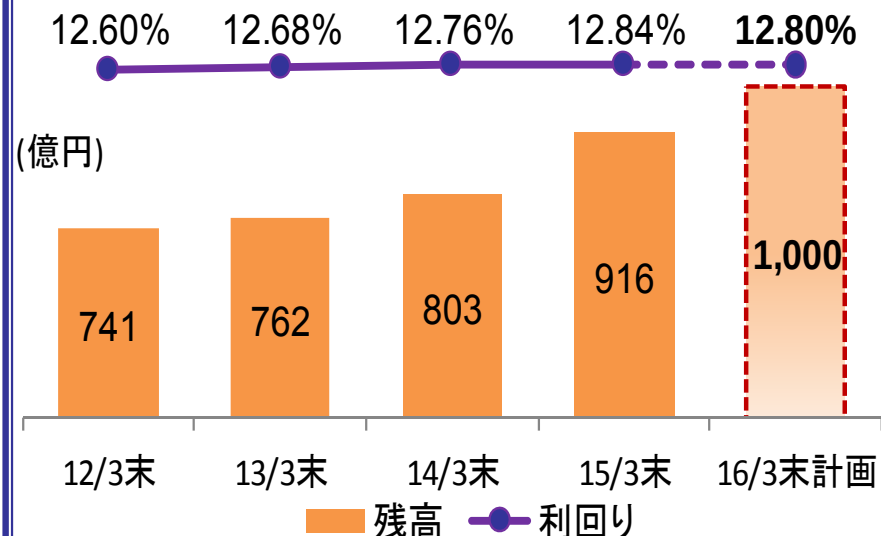
住宅ローン 取組強化



- 「奥さま保障」取扱
- リフォームローン利用限度額拡大
- HPからの住宅ローン事前審査の申込受付
- インターネットでの繰上返済・金利変更受付



カードローン 推進



- テレビコマーシャル・新聞広告の継続
- インターネット(スマートフォン)、雑誌広告の強化
- ATM告知、IBバナー告知
- 既往のお客様への極度増額アプローチ



個人のお客様 資産運用ニーズへの取組み

- **資産運用ニーズ**に対して、**投資信託**や**保険等**の①**商品ラインナップの充実**、②**チャネルの多様化**、③**商品提案力向上**を図る。 ⇒ **お客様満足度の向上**
- **預かり資産販売増加** ⇒ **役務収益の拡大**を目指す。

商品ラインナップ充実

- 「ラップ型投資信託」の取扱開始→初めて運用される方、運用はしたいけど何に投資をしたら良いか分からない方等のニーズに対応
- インターネットバンキング専用投資信託(北陸銀行:Funds-i、北海道:e-MAXIS)の導入

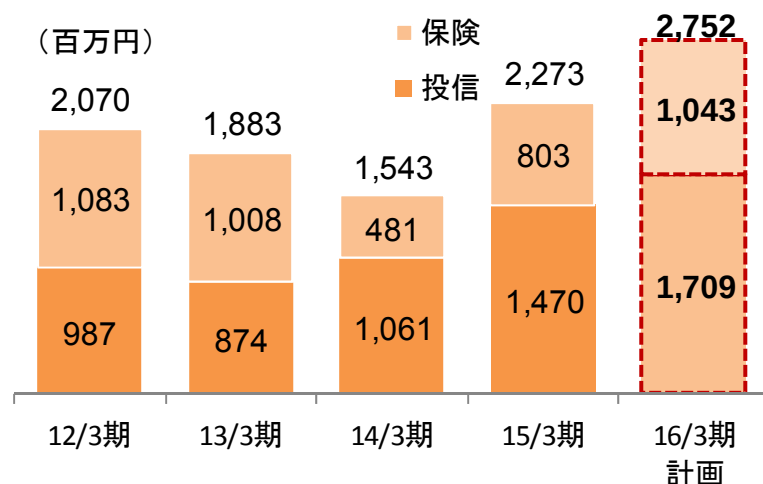


チャネルの多様化・商品提案力向上

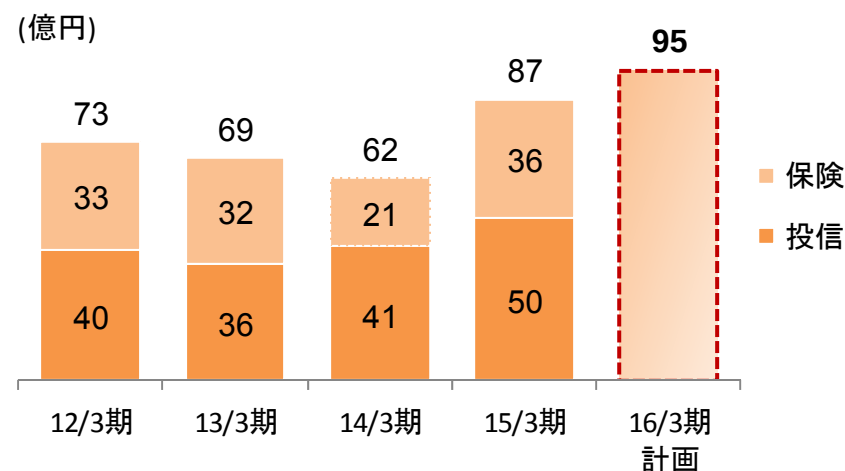
- インターネットバンキング活用
スマートフォン専用画面、取引照会アプリ
公共債取引開始
- 資産運用「オンラインセミナー」随時開催
- タブレット端末の活用
- EBMの活用(イベント情報拡大)



投資信託・保険 販売額



投資信託・保険 収益額



- **事業性貸出**： お客さまが直面している課題を共有 ⇒ 解決策（ソリューション）提案
⇒ 資金需要の創出 ⇒ **金利競争からの脱却**
- **成長分野**：「**医療・福祉**」「**農業・食**」への支援取組の強化

取引先のニーズ・課題の共有⇒解決案提示

事業課題共有

「ヒト・モノ・カネ」の把握

解決策提案

「ビジネスマッチング」
「M&A」「事業承継」
「海外ビジネス支援」他

資金需要創出

金利競争とならない
貸出金の積上げ

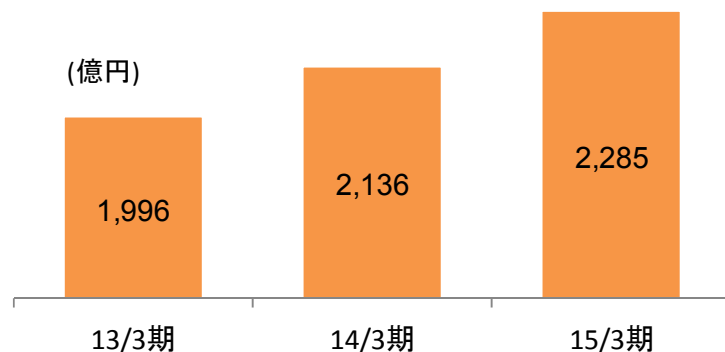


北陸銀行 取引先別に「応援テーマ」を選定し、お客様の目線に合った営業活動を展開

北海道銀行 全行を挙げて、全力で取り組む先を選定し、本部・支店、役職員一体となった集中工作を展開

医療・福祉

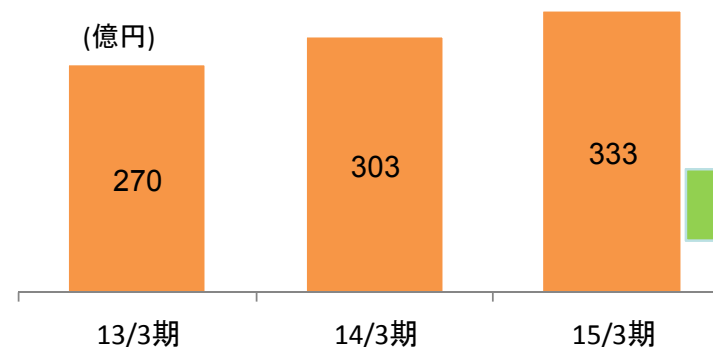
(億円)



- 「地域ヘルスケア産業支援ファンド」(6億円出資)と協力し、医療・介護事業者への支援を拡大
- 医療専門機関との協働によるアプローチ

農業・食

(億円)

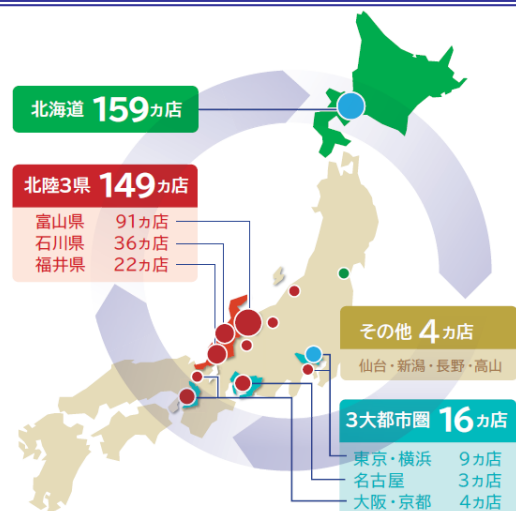


北海道銀行のみ

- 農業者・食関連企業双方の事業拡大・新規事業創出を促進する『6次産業化』の工作を展開
- 農業支援ファンド

- 「日本」「中国」「アジア」「ロシア」「欧米」に広がるネットワークを活用したビジネス機会の創出 ⇒ お客様とのリレーション強化
- 様々なお客様ニーズに対応できる人財の育成

「国内ネットワーク」によるビジネス機会創出



- 北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6次産業化商談会～（15年2月）
- 北海道の『食』特別商談会（14年11月）
- 「2行連携（ほくほく連携）」によるお客様の相互紹介・ビジネスマッチング
- 「目利き力向上」の研修やコンテストの実施
- グループ人財の活用

弁護士	公認会計士	農業経営アドバイザー	医業経営コンサルタント	医療経営士
4名	9名	73名	1名	25名

「海外ネットワーク」によるビジネス機会創出

海外駐在員事務所 9 拠点 北陸銀行 6 北海道銀行 3



- 海外駐在員事務所長 お客様向け報告会
 - 14年10月 北陸銀行ニューヨーク事務所長（札幌）
 - 15年4月 北陸銀行バンコク事務所長・北海道銀行ユジノサハリンスク事務所長（帯広・札幌）
- タイ・カシコン銀行主催の大規模商談会にお客様を案内
- 「ロシアビジネス交流会 in 札幌」開催（15年2月）
- 海外拠点を拡充：ウラジオストク駐在員事務所開設（14年3月）
- 海外研修、海外トレーニーの実施

営業地域(北陸・北海道) 景況感の好転・資金ニーズの高まり

北陸地区

<新幹線効果>

<経済効果>

富山県約118億円
石川県約124億円
【北陸経済研究所試算】



富山駅

<本社機能(一部)移転>

YKK(株)・YKKAP(株)
本社機能の一部を富山県に移転
加賀東芝エレクトロニクス(株)
研究開発部門を石川県に集約

<資金需要>

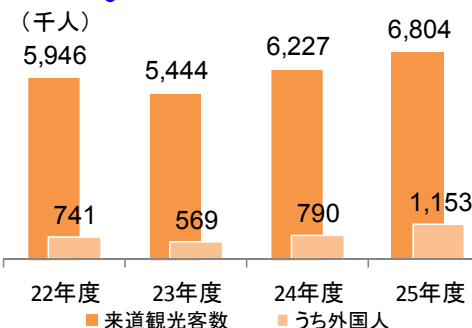
- 観光客増加に対応するホテル建設資金
- ホテル増加に伴うクリーニング需要増に対応する工場新築資金
- 小売店舗改装資金

北海道地区

来道観光客数

<観光客増加>

来道客数は、スキー旅行のほか、さっぽろ雪まつりなどのイベントも道外からの集客に貢献するなど、好調を維持している。



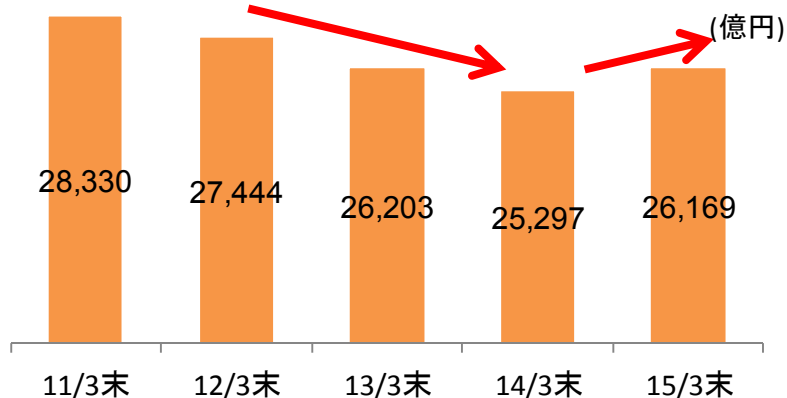
<北海道新幹線>
平成28年3月開業
新函館北斗～新青森



<経済効果>

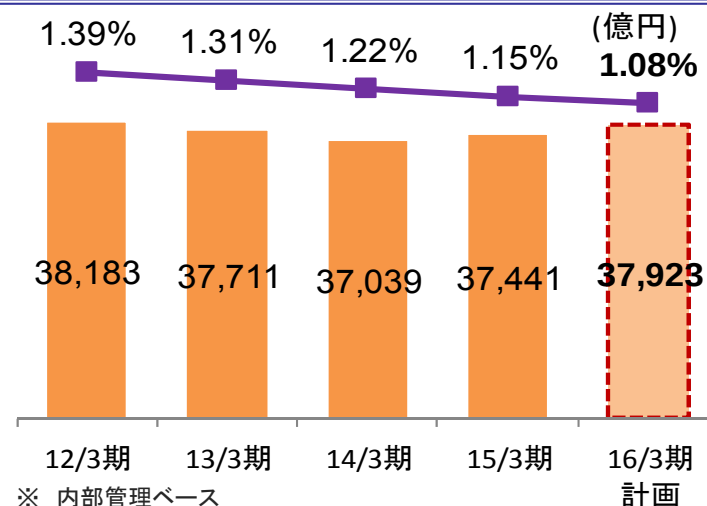
年間約136億円
【日本政策投資銀行
北海道支店試算】

中小企業向け貸出残高



● 減少傾向から増加に反転

事業性貸出平残・利回り

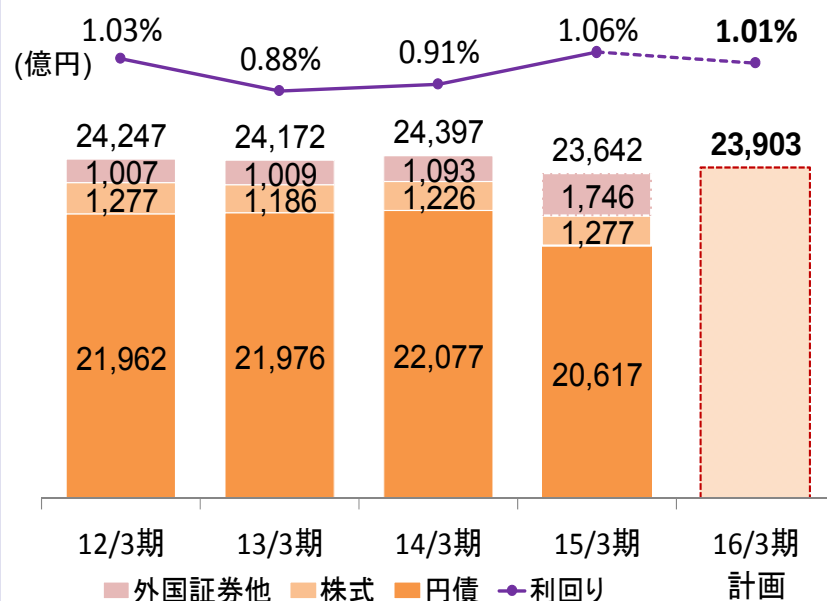


有価証券運用の強化

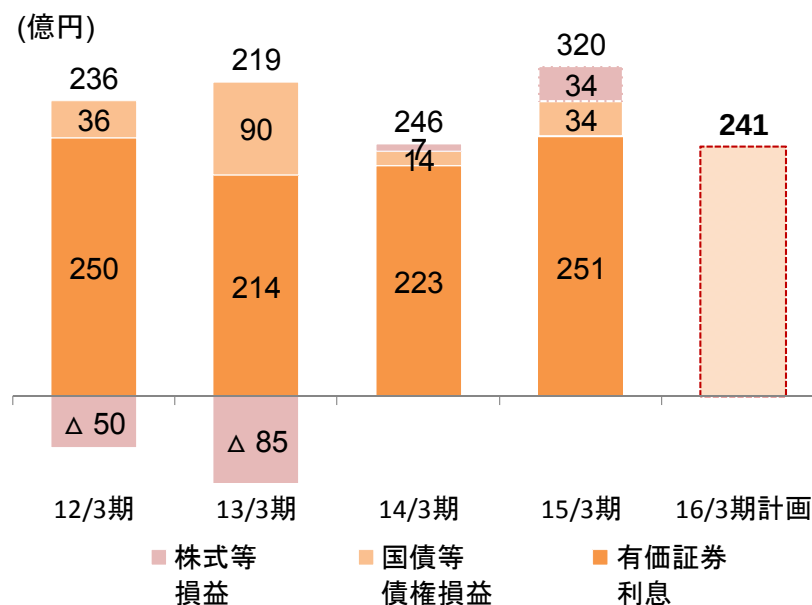
➤ **有価証券**：マーケット状況を見つつ、**外国債券**、**投資信託**での機動的な運用

⇒ **貸出金利息減少の補填**

有価証券 平残・利回り



有価証券関連収益

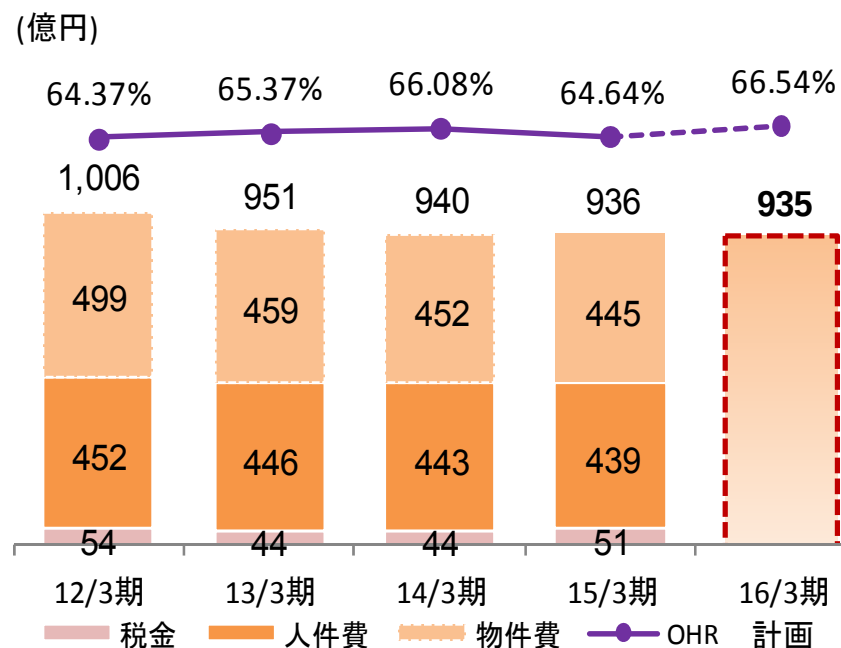


15年度 運用方針

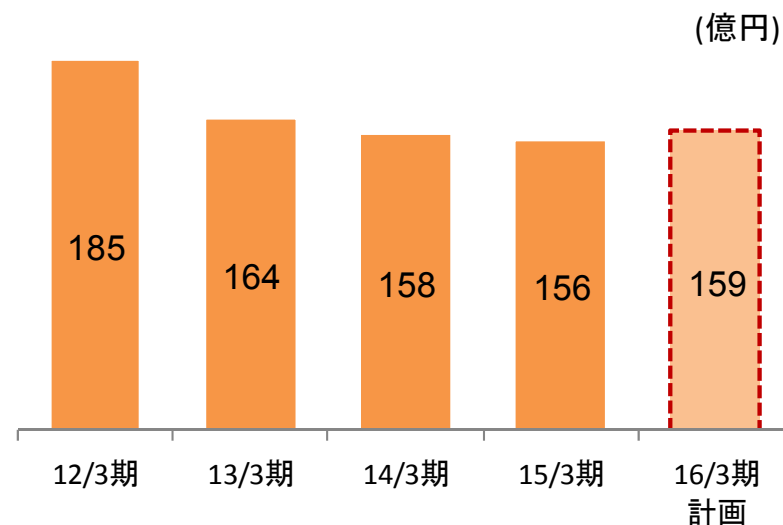
- 長期金利の低位推移が続くことを想定し、外国債券や投資信託等での運用を強化し、利回りの向上を図る。
- 国債の償還資金についても、外国債券等での運用に切り替える。
- 国債の追加購入については、当面控え、金利上昇局面で検討を行う。

➤ 経 費：事務効率化・本部集中化・2行共同化による経費節減

経費・OHR



うち機械化関連費用



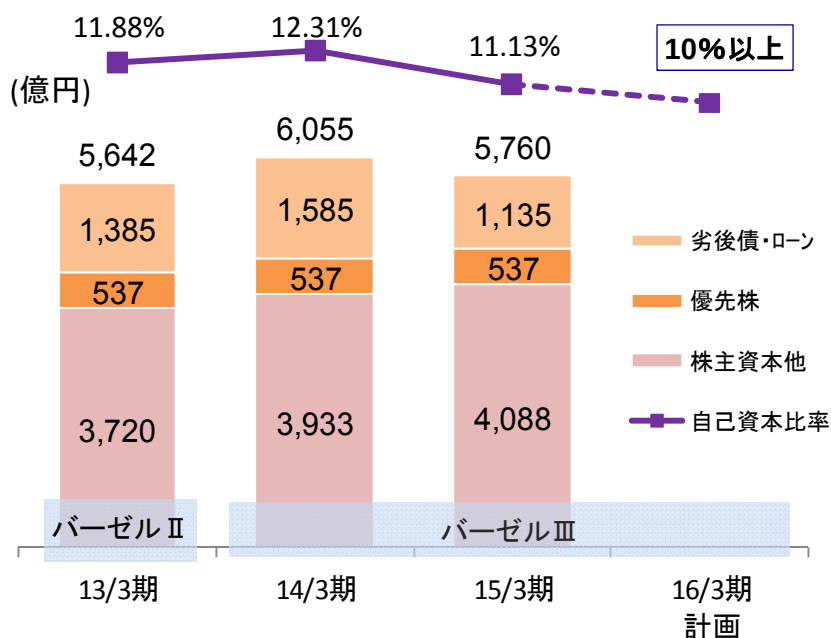
効率化施策

- 共同システム利用：MEJARシステムに「七十七銀行」参加し四行体制(2016年1月)
- 「営業店運営体制」見直しによる効率化
- 事務効率化・本部集中による人件費削減
- シナジー効果の加速
管理業務(リスク管理、監査等)の業務集約化促進、営業店事務・サブシステムの統一化

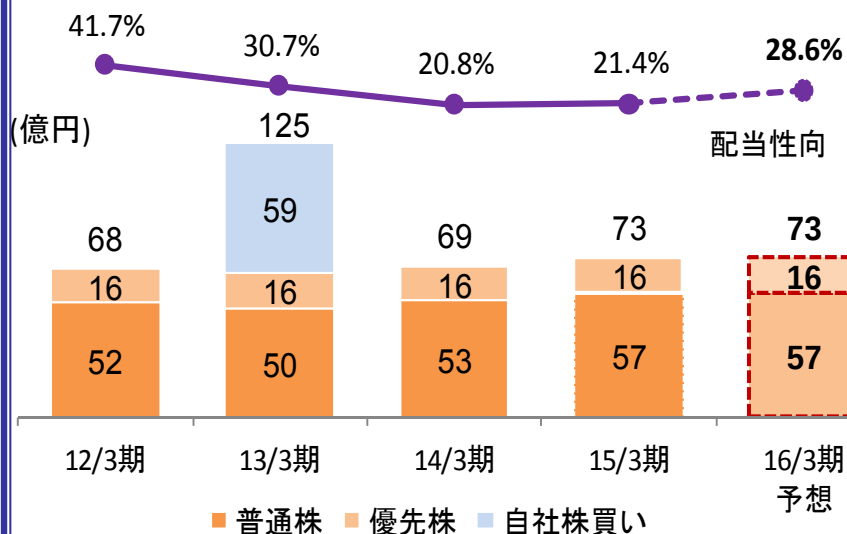
資本政策

- **劣後債務**：劣後債・ローンの繰上げ償還 ⇒ 調達コストの削減
- **自己資本比率**：収益の積上げ・リスクアセットのコントロール ⇒ 2016年3月末 **10%以上**

連結自己資本比率



株主還元



ROE

10/3	11/3	12/3	14/3	15/3	16/3 (予想)
4.6%	3.2%	4.0%	5.8%	5.5%	4%程度

普通株配当額推移(一株当たり)

08/3	09/3	10/4	11/3~13/3	14/3	15/3	16/3 (予想)
2.50	3.00	3.50	3.75	4.00	4.25	4.25

- 安定的な配当を目指す

地域創生

- 政府「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、北陸三県・北海道「地方版総合戦略」の策定および推進を積極的に支援。
- 組織横断的な支援体制を構築
北陸銀行：「地域創生応援プロジェクトチーム」
北海道銀行：「道銀地方創生本部」
- 現在、道県及び各市町村と連携し、当社グループで支援できる内容を協議中。

女性活躍

- 「女性活躍促進ミーティング」の実施
女性行員の職務開発や諸制度の整備に反映
- 復職・再雇用支援
産前・産後フォローツールの導入検討
職場復帰面談シートの制定
再雇用制度の充実
育児休業期間延長
- 地銀協「女性マネージャー養成講座」への参加

地域貢献活動

<北陸銀行・北海道銀行>

- H26/12「エコノミクス甲子園」開催

<北陸銀行>

- 「新幹線カウントダウンボード」設置
- 一斉おもてなし清掃

<北海道銀行>

- 女子カーリングチーム「フォルティウス」
H27/3世界女子カーリング選手権日本代表
- 「リクルート北海道じゃらん」と提携し、北海道・東北をPR

新幹線カウントダウンボード



エコノミクス甲子園



北海道銀行フォルティウス

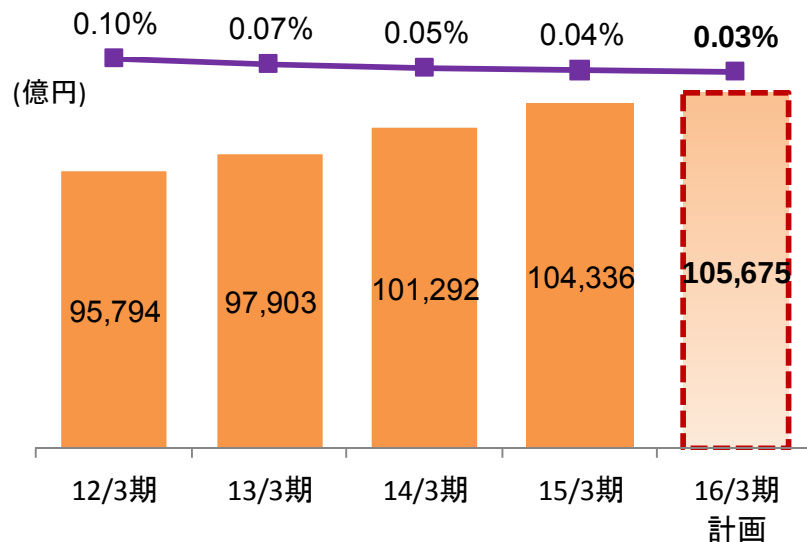


リクルート北海道じゃらん

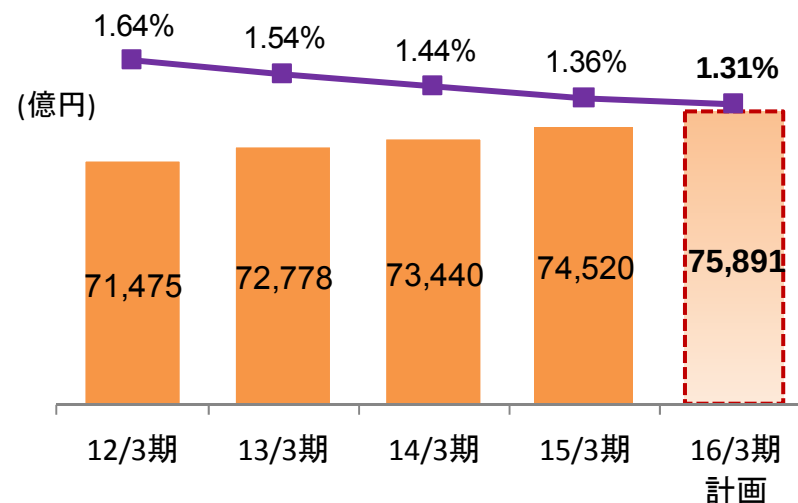


2016年3月期 見通し・業績予想

預金 平残・利回り



貸出金 平残・利回り



ボリューム(平残)

(億円)

【2行合算】	16/3期計画	前年比	15/3期
貸出金	75,891	1,370	74,520
有価証券	23,903	261	23,642
預金・NCD	105,675	1,338	104,336

資金利回り

【2行合算】	16/3期計画	前年比	15/3期
貸出金	1.31%	△0.05%	1.36%
有価証券	1.01%	△0.05%	1.06%
預金・NCD	0.03%	△0.01%	0.04%

2016年3月期 見通し・業績予想

16年3月期 業績予想(FG連結)

	(億円)		
	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	935	1,850	△ 89
経常利益	160	335	△ 146
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	215	△ 67

16年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	4円25銭	4円25銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

16年3月期 業績予想(北陸銀行・北海道銀行)

	【2行合算】			【北陸銀行単体】			【北海道銀行単体】 (億円)		
	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	865	1,700	△ 94	450	900	△ 40	415	800	△ 54
コア業務粗利益	705	1,405	△ 43	380	760	△ 5	325	645	△ 38
経費(△)	465	935	△ 1	250	500	△ 4	215	435	3
コア業務純益	240	470	△ 42	130	260	△ 0	110	210	△ 41
与信費用(△)	50	105	44	25	55	37	25	50	7
経常利益	170	340	△ 131	90	190	△ 55	80	150	△ 76
当期純利益	110	225	△ 57	55	120	△ 26	55	105	△ 30

主要計数対比

	16年3月期 中期経営計画	16年3月期 計画・見通し	対比
総預金平残	10兆1,100億円	10兆5,675億円	+4,575億円
貸出金平残	7兆4,800億円	7兆5,891億円	+1,091億円
コア業務純益	470億円	470億円	0億円
連結当期純利益	185億円	215億円	+30億円
連結自己資本比率	10%以上	10%前半	達成見通し
OHR (コア業務粗利ベース)	67%	66.5%	△0.5%
不良債権比率	2%台	2%前半	達成見通し

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:宮崎)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsa2@hokuhoku-fg.co.jp
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。